



どう使われたか？
私たちの税金！
令和3年度決算





議会の思いを届ける

どの世代も 安心して暮らせるまち

大きな病院まで時間がかかるからこそ、医療にもっと力を入れてほしいです。
また、どの世代も孤独を感じずに暮らせるまちになってほしいです。



おかだ みつき
岡田 美月さん
(能美町鹿川)

市民の声

ごみのないきれいな海に

私は、学校行事の海岸清掃で思っていたよりたくさんのごみがあることに驚きました。
江田島の財産である海を「ごみのないきれいな海」で有名にしていきたいです。



はまぐち りこ
濱口 璃子さん
(江田島町江南)

農業が発展できる環境を

1次産業の連携がとりやすいまちになると良いですね。
農産物や海産物、そして自然体験が島の魅力になり、観光資源になることを望んでいます。



まつもと しゅうじろう
松本 秀二郎さん
(能美町中町)

どんな江田島市になってほしいですか？

みんなひとりじゃない

一人一人、子どものときから高齢者になるまで友達、仲間、保護者、誰かとながら続けることができる、豊かで一人一人の夢や想いが実現できる島になったらいいな。



よしの たかはる
吉野 隆治さん
(沖美町岡大王)

子育て世代が 住みたいまち

子どもの頃から人口減少で学校なども無くなり、寂れていくのを見て育ちました。
若い人が住んでみたいと思えるまちになってほしいですね。



かわぐち ゆうや
川口 裕也さん
(江田島町大須)

環境づくりのために 思い切った取り組みを

江田島市の人口が増えるように移住しやすいような環境づくりと保育園無償化など、子どもを産み育てることのできる環境づくりをしてほしい。



てらもと りゅうじ
寺本 龍二さん
(沖美町美能)

令和3年度

決算審査意見24項目を付して認定

24項目掲載



国民健康保険税の収納状況は、現年度分収納率が94・8%、滞納繰越分が10・7%で、不納欠損額3242万7000円、収入未済額1億4213万7000円である。善良な納税者の負担増の回避および公平な税負担という観点から、収納率向上と不納欠損額の削減に努められたい。

下水道の面整備事業は、令和元年度末で終了したが、接続率の向上には今後も粘り強く取り組んで使用料収入を確保するとともに、一般会計からの繰入額が減少するよう一層効率的な事業実施に努められたい。

生活交通維持対策事業の中の「おでかけ無料乗車day」は、交流人口増加の視点も取り入れ、海上交通の同時実施等も検討しながら事業を実施するよう努められたい。

債権運用については、令和3年度の債権運用益が1909万円となっており努力が認められる。今後も、安全性に留意しながら運用益の確保、歳入の確保に努められたい。

市営住宅は、全体的に老朽化が進み、空き住戸が増加する中、適切な維持管理・修繕が課題である。要配慮者には引き続き低廉で良質な住宅を提供できるよう整理・再編に取り組むとともに、需要に見合う適切な管理戸数となるよう取り組みを進められたい。

障害者施設等通所・通院交通費助成事業は、実際に利用できるケースが限られている。市内での子どもの療育環境の充実にも取り組みつつ、市外への通院・通所の負担軽減となるよう要件を見直されたい。

小学校および中学校就学援助について、今後は市民生活に関わる関係部局等と連携しながら、保護者の経済状況等によって、学びの状況が左右されることのないように努められたい。

消防団員数が減少しつつあり、地域防災の観点から団員数の確保をしなければならぬ。今後も必要に応じて業務見直しを行い、消防団の魅力向上策を検討されたい。

決算審査 Q&A

令和3年度の決算認定議案を9月定例会において決算審査特別委員会に付託しました。同委員会では、付託された議案について、常任委員会所管ごとの2分科会に分割し、計4日間にわたって慎重に審査しました。決算の審査にあたり、監査委員の意見を踏まえ、議論された内容の一部を紹介いたします。

監査委員意見（一部抜粋）

令和3年度の決算は、歳入240億5312万2000円、歳出231億1225万1000円となり、歳入・歳出ともに前年度と比較して減少しており、実質収支は5億7102万4000円の黒字となっております。しかしながら、財政力の低い状態が続いていることから、今後も最小の経費で最大の効果を上げることができるよう行財政運営に努めてください。

決算審査特別委員会

酒永光志委員長意見

令和3年度一般会計、特別会計および企業会計決算については、決算審査特別委員会において、行政の目的とする地域住民の福祉の増進のためにどのような効果を上げることができたかなどの行政効果の観点から慎重に審査の結果、適法にして健全な財政運営に努めていることを認め、全会一致で可決および認定することに決しました。

労働対策事業

職業無料相談所では、障害のある方からの相談には対応できず、呉のハローワークに就業相談に行くことを勧めるようだが、市はこの環境をどう考えているのか。

社会福祉協議会とも話をして、今後そのようなことのないように徹底していきます。

自治会への加入

加入率が下がり、地域活動の担い手が不足している。市は移住促進と並行して自治会加入促進をしているのか。

空き家バンクを紹介する際に自治会加入を促すほか、自治会にできるだけ入ってもらえるようアパートの管理会社とも連携を強化します。

急傾斜地の草刈り

県から事務移譲されている急傾斜地維持修繕箇所は、どれだけあるのか。草刈りを要望しても何年か待たないといけない状況だが改善できないのか。

県の急傾斜地が115カ所あり、順次対応しています。なるべく早く要望にお応えできるよう、県へしっかり要望していきます。



民生委員の欠員

民生委員が13人も欠員している状況だが。

現在の定員は合併時の定数を引き継いでいて、大柿町の定数が他地域と比べて多く、欠員も多い状況です。令和7年度の一斉改選までに現状に即した適正な定員の見直しを検討します。

ホストタウン交流事業

オリンピックに関連する本事業は、今後も継続するのか、また本事業の効果は。

本事業は今年度で終了しますが、国際交流事業として事業を継承していきます。効果については、競泳選手とのオンライン交流が続いており、平和の大切さなどを伝えることができました。



防災用備蓄倉庫設置事業

建物面積31・87㎡の新築工事費用が848万円ということは、一坪あたり約80万円で大変高額ではないか。

建設地の一部が土砂災害浸水区域にかかっているため、基礎の部分のかさ上げをしています。大部分はその工事費です。



有害鳥獣対策事業

「イノシシ110番」に電話をしても協力してもらえないとの声を聞くが状況は。

2人いる相談員を介して、有害鳥獣保護班に民の設置を依頼しています。また、捕まったイノシシの処分も市の実施隊が行っています。



市有住宅団地の分譲

令和2年度決算の課題で、「条件設定の見直し等を行い、売却促進に努める」となっているが、その後の状況はどうか。

時期が長引くほど魅力が薄れていくことから、現在の土地価格の下落率などを勘案し、令和4年4月から価格の見直しをしています。

定住促進通学費支援事業

現在、補助上限額が費用の3分の1となっているが、さらに補助率を上げて人口減少問題や移住・定住促進につながるような取り組みとしてはどうか。

本事業の令和3年度決算額は2019万円です。市の財政状況も勘案しながら検討します。



A 高齢者をはじめ、デジタル活用に不安のある方を対象に、スマートフォンによる行政手続などに関する助言や相談、支援をする講座を計画しています。地元事業者や大柿高校とも連携し、開催することでデジタル格差の解消につなげたいと考えています。



スマートフォン教室

Q スマートフォン教室実施業務委託料とは具体的に何か。

こんな質問が出ました

主なものは、公共施設再編整備事業・道路維持管理事業・新型コロナウイルス感染症対策事業などで、9579万円の増額補正です。

Point!

一般会計補正予算を可決しました。

議案第42号 令和4年度江田島市一般会計補正予算(第2号)

令和4年9月
定例会
会期：9/8・9

令和4年10月
臨時会
会期：10/28

全ての議案名は、市ホームページでご覧いただけます。



報告・・・4件
同意・・・1件
議案・・・23件

選挙・・・1件
報告・・・1件
議案・・・13件

全ての議案の中から5つを詳しく解説!



Q RPA保守管理サポート業務委託料とは具体的に何か。また、RPAを導入することでの費用対効果は。

A 業務の効率化をはかるため、申請書や申込書等の手書きの用紙を機械で読み取り、システムへの入力を自動化する機器を導入するものです。

総務省の調査によると年間合計1993時間を削減したという調査結果が出ており、これにより生じた人的資源を職員でしかできない業務へシフトし、市民サービスの向上へつなげたいと考えています。

※RPAとは、普段人が行う事務系の定型業務を代替して自動化するもの。

Q 迷惑電話防止機器購入補助金は、想定以上の需要があったため、増額補正しているのか。

A 当初年間50件を想定して予算を組んでいましたが、現在30件の補助をしています。これまでの推移ですと年間120件の補助申請が見込まれます。これからさらなるPRをし、普及促進に努めます。

Point!

監査委員の選任に同意しました。

同意第3号 監査委員の選任につき同意を求めることについて

監査委員(継続)

三浦 和英さん
(みづら かずひで)
(沖美町三吉)



Point!

(仮称)飛渡瀬交流プラザ新築工事の契約を締結します。

議案第40号 (仮称)飛渡瀬交流プラザ新築工事(建築) 請負契約の締結について

旧飛渡瀬小学校跡地に(仮称)飛渡瀬交流プラザを新築します。

契約金額 2億1670万円(税込)
請負業者 株式会社大柿産業(大柿町飛渡瀬)
工期 令和5年9月4日まで



市の考えを問う

一般質問

質問者 9人

- 1 岡野 数正 新型コロナウイルス感染症対応や物価高について
- 2 古居 俊彦 江田島の観光事業について問う
- 3 美濃 英俊 江田島観光協会の進捗について
- 4 宮下 成美 食材費高騰における学校給食への影響について問う
- 5 上本 雄一郎 市民の安心安全を守る消防力の確保について問う
- 6 筧本 語 障がい者への支援および施設の状況の改善について
- 7 平川 博之 公共施設および避難所施設の利用促進について問う
- 8 長坂 実子 移住定住促進の魅力化として3世代ファミリーの移住をすすめてはどうか
- 9 平本 美幸 江田島の災害発生時の危機管理体制について

QRコードを読み取ると録画映像が視聴できます。



岡野 数正

新型コロナウイルス感染症対応や物価高について

答 感染防止対策の徹底と物価高支援策に幅広く取り組む



問 江田島市業務継続計画により対応することとしていますが、各部局長に「新型コロナウイルス感染症発生時の業務体制について」を通知しています。内容については、人員不足が生じた場合の各部局間の調整などです。

答 職場内で感染者が発生した場合、行政サービスの維持するための業務継続計画は定めているのか。

答 基本的な感染防止対策と合わせて、シフト勤務制度やテレワーク、ウェブ会議を活用し、対応しています。本年6月末には、同一フロアの職員6人が感染する事態が発生し、感染防止のために当該フロアを2日間閉鎖しました。業務の一部に影響が出ましたが、総務課が臨時の窓口となり対応しました。

問 市職員の感染者が多く発生している中、市役所の業務は市民生活に欠かせない業務となっている。欠勤者が増えることで行政サービスが滞ることはないのか。

答 担当課において、市内事業者の業界団体である江田島市商工会や、呉農業協同組合および各漁業協同組合、また医療機関や社会福祉施設も含めた、それぞれの各種関係団体から、感染拡大や物価高騰の影響を把握するための情報収集に努めています。その上で、地方創生臨時交付金を活用した補助金や支援金の交付など必要な支援策を講じており、引き続き市内事業者への支援に注力していきます。

おわりに

交付金を使つての支援は生活苦に陥ろうとしている市民や売り上げが減少している事業者への支援など、地域の課題を踏まえた対策に活用されるべきものと考えます。市内の実情に幅広く目を向けるとともに、現場や市民の声を傾け、本当に困っている人の掘り起こしに尽力されたい。

その他、人口減少抑制策について質問をしました。

令和4年9月定例会および10月臨時会で同意・可決された議案

- 監査委員の選任につき同意を求めることについて
- 江田島市農地中間管理機構関連農地整備事業に係る特別徴収金に関する条例案について
- 江田島市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案について
- 江田島市議会議員及び江田島市長の選挙における選挙運動費用の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案について
- (仮称) 飛渡瀬交流プラザ新築工事(建築) 請負契約の締結について
- 広島県水道広域連合企業団の設立に係る協議について
- 令和4年度江田島市一般会計補正予算(第2号)
- 令和4年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 他特別会計補正予算2件
- 令和4年度江田島市水道事業会計補正予算(第1号)
- 令和4年度江田島市下水道事業会計補正予算(第1号)
- 令和3年度江田島市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 令和3年度江田島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 他特別会計歳入歳出決算の認定について8件
- 令和3年度江田島市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
- 令和3年度江田島市下水道事業会計決算の認定について
- 令和4年度江田島市一般会計補正予算(第3号)

Point!

副議長選挙が行われました。令和5年3月31日(金)までです。

選挙第1号 副議長選挙

酒永光志副議長の退任に伴う選挙が行われ、投票の結果、平川博之議員が副議長に就任されました。

平川 博之 議員



Point!

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増に対し、対象世帯に5万円を支給します。

議案第60号 令和4年度江田島市一般会計補正予算(第3号)



食材費高騰における学校給食への影響について問う

答 物価の状況を注視しつつ、安全・安心、栄養バランスの取れた給食提供に努める



問 今後の物価の状況を注視しつつ、食の安全・安心、栄養バランスの取れたおいしい給食の提供に努めていきます。

答 全体として上昇傾向です。特に小麦粉と油の価格上昇が顕著な傾向となっています。そのため、月に6回程度あるパン食を減らして米食を増やしたり、価格高騰の激しい食材を他の物に振り替えるなど献立を工夫して、食材費の増額を抑えています。

問 現在の費用面や調達状況は。

答 1学期分の食材費は、昨年度と比較して5%程度上昇しています。2学期の食材については、昨年度と今年度の食材見積もりで比較しますと、全123品目のうち、値上がりしたものが小麦粉をはじめ58品目、値下がりしたものが海産物をはじめ25品目、変動なしが40品目となっています。

問 昨年度に比べてどのような差があるのか。

答 小麦粉の価格については「公益財団法人広島県学校給食会」が年間を通じた単価契約を業者と締結しています。このため小麦の価格が暴騰したとしても、本年度内はパンの価格が変わることはありません。

問 小麦粉の値上がりによって、パンの価格が来月から上がるということはありませんか。

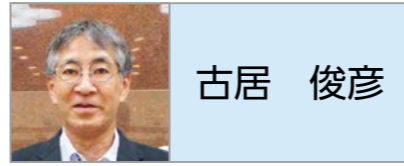
答 小麦粉の価格については「公益財団法人広島県学校給食会」が年間を通じた単価契約を業者と締結しています。このため小麦の価格が暴騰したとしても、本年度内はパンの価格が変わることはありません。

問 どのように献立を工夫したのか。

答 小麦粉と油の値上がり、マカロニサラダをツナサラダに変更したり、揚げ油を数回にわたって使用できるよう、油の痛む献立を避ける工夫をしています。

問 子育て支援の一環としても給食費の無償化は有効と考えるがどうか。

答 保護者の方に負担した円分の財源を確保しなければなりませんので、慎重に検討していく必要があると思いますし、現在のところは難しいと考えています。



江田島の観光事業について問う

答 検討を進める。道の駅は計画していない



問 昨年の江田島の市内の利用者数は。

答 1年間の宿泊者は7965人、温泉施設利用者は全体で1万4877人で市民の利用は4155人でした。

問 市民の声として、江田島の利用は難しいと声を聞く。以前の能美海上ロッジ・シーサイド温泉のうみでは、食事が自由にでき、温泉の入浴も時間制限がなく、これらの点をみても新しくできた施設が代替えの施設になっていないか。

答 温泉施設は、利用時間の制約があるほかは、市民も自由に利用できるものとなっています。レストランの利用については、宿泊者限定であり、課題と考えていますので、市民が利用しやすい環境づくりについて前向きに検討を進めています。

問 江田島市観光振興計画にある能美エリアについて伺う。

答 江田島市や長瀬海岸、旧ロッジ跡地等を含む

このエリアは、観光・交流拠点および海と島の観光・交流ゾーンとして位置付けられており、旧ロッジの跡地の活用を含め、観光客だけでなく、市民も気軽に訪れることができる賑わいの場となるよう、環境の整備や運営についての検討を進めます。

問 総合的な観光スポットとして、道の駅の計画については。

答 財政的な面を考慮して当初から大規模な施設にするのではなく、小さく生んで大きく育てたい。総合的な観光スポットとしていわゆる国土交通省に登録する道の駅のようなものは計画しておりません。

おわりに

昨今の新型コロナ禍において、交流、イベント、観光といったものが各地で中止または取りやめとなつてきている。しかしながら、違った形の観光等にシフトしており、新たな事業が始まっていると思うが、江田島市も交流人口の拡大をはかる観光事業について、前向きに願う。



市民の安心安全を守る消防力の確保について問う

答 今後も本市単独で消防本部を維持したい



問 直近3年間では、新消防庁舎の竣工のほか、コロナ感染症の感染拡大等があり、消防本部を取り巻く環境は大きく変わったと言えるが、この間も感染防止に努めながら任務に当

答 本市としては、消防本部を今後も単独で維持したいと考えています。近年は災害対策本部の設置を要する大規模な自然災害が頻発していますが、消防長を災害対策本部員として配置することで、迅速な災害対応がはかれています。現在、消防本部は、1本部1署1出張所、危機管理課への出向を含めて職員67人の体制で、高規格救急車3台、軽救急車2台、消防ポンプ車3台の他、12台の消防車を配備しています。また、ドクターヘリ対応簡易ヘリポートを10カ所整備するなど、市民ニーズの高い救急活動に重点を置いた体制をとっています。

問 近年、激甚化する大規模災害に迅速かつ機動的に対処し、市民の安心安全を確保するには、これからは、このまま単独で消防を維持することが強く望まれるところであるがどうか。

答 救急隊の感染防止対策としては、N95マスク、ゴーグル、再使用が可能な感染防止衣、ゴム製の使い捨てグローブを装着し出勤しています。また、感染者搬送用の陰圧式カプセル、通称「アインレーター」により、患者を保護することにもウイルスの飛散を防いでいます。患者搬送後は、ウイルス除去効果の高い「オゾン水」を隊員の装備品や資器材にかけ流し、消毒を徹底して出勤体制を早期に整えています。



アインレーター

今後これらの装備を活用し、安心安全な救急搬送を継続していきます。



江田島市観光協会の進捗について

答 観光協会の支援を引き続き行う



問 令和3年12月議会の観光に関する質問への回答の「観光協会が体験メニューを一括してPRと販売することで、収益へつながらる環境を整うと考えている」「観光推進の中心的存在に成長するように市としてもサポートが必要と考える」の具体的な進捗は。

答 今現在、その体制を構築するまでには至っていません。観光協会との調整を進め、効果的に運用できる体制づくりへの支援を続けていきます。

問 目的を達成するために現状の観光協会に具体的に求めるものはあるか。

答 観光協会自身が、市の特性や観光資源、特産品について理解を深め、誘客につながるメニューを造成する力を自発的に高めていくことが必要となりますので、それを可能とできる事務局体制の構築と、職員の資質向上を特に求めています。

問 観光協会は事務局長不在の状態だが、市としてはどう考えているのか。

答 観光協会にどのような役割を担ってもらうかビジョンを明確にして、サポートをお願いする。

答 令和2年度途中から欠員となつていますが、有効な打開策を講じるに至っていません。観光協会の存在は、本市の観光振興において重要な位置付けであると考えています。よって、昨年度から、本市の交流観光課長を観光協会の業務執行理事に就任させています。事務局長の配置を含め引き続き観光協会を支援していきます。

問 今までの観光協会が得意ななかったことを、責任者のいない状況で具体的に事業を進めるのは難しいのでは。市の明確な指示が必要と思うがどうか。

答 今年度も交流観光課により事務局運営の支援は続けていきます。

おわりに 観光協会と本市は、観光振興に向けて、相互に協力を続けていくべき関係であると考えていますので、事務局体制の整備をはじめ、さまざまな場面での支援を引き続き行つていきます。



長坂 実子

移住定住促進の魅力化のため3世代ファミリーの移住をすすめてはどうか

答 島暮らしの情報発信を強化し、移住相談者に提案する



問 近年、移住が活発化しています。移住が活発化している中、今後移住定住ポータルサイトやメディアを活用し、島暮らしの情報発信を強化し、興味を持っていただく方々へのサポート体制をしっかりと取り組み、議員提案の3世代家族の近居や同居を、移住相談者へ提案します。

答 本市は、転入者より転出者の方が多い状況が10年以上続いている。人口流出抑制のため子育て支援や仕事の場づくりも必要不可欠だが、本市への愛着や誇りを育むための本市の新たな魅力PR、魅力づくりが必要だと思つた。都市部と比較し、本市は広々とした住環境を実現しやすく、恵まれた気候や自然が魅力の子育て環境のほか、都市部に近く医療福祉環境に恵まれ、特に在宅医療介護サービスが充実し、家での看取りまでできるなど魅力がある。本市での3世代家族の近居や同居の魅力としてPRし、本市出身者が結婚・子育てをきっかけに戻ってくる後押しや、3世代家族の移住をすすめてはどうか。

問 本市は、転入者より転出者の方が多い状況が10年以上続いている。人口流出抑制のため子育て支援や仕事の場づくりも必要不可欠だが、本市への愛着や誇りを育むための本市の新たな魅力PR、魅力づくりが必要だと思つた。都市部と比較し、本市は広々とした住環境を実現しやすく、恵まれた気候や自然が魅力の子育て環境のほか、都市部に近く医療福祉環境に恵まれ、特に在宅医療介護サービスが充実し、家での看取りまでできるなど魅力がある。本市での3世代家族の近居や同居の魅力としてPRし、本市出身者が結婚・子育てをきっかけに戻ってくる後押しや、3世代家族の移住をすすめてはどうか。

問 本市は、転入者より転出者の方が多い状況が10年以上続いている。人口流出抑制のため子育て支援や仕事の場づくりも必要不可欠だが、本市への愛着や誇りを育むための本市の新たな魅力PR、魅力づくりが必要だと思つた。都市部と比較し、本市は広々とした住環境を実現しやすく、恵まれた気候や自然が魅力の子育て環境のほか、都市部に近く医療福祉環境に恵まれ、特に在宅医療介護サービスが充実し、家での看取りまでできるなど魅力がある。本市での3世代家族の近居や同居の魅力としてPRし、本市出身者が結婚・子育てをきっかけに戻ってくる後押しや、3世代家族の移住をすすめてはどうか。



山下明生先生の作品



平本 美幸

江田島市の災害発生時の危機管理体制について

答 市民の生命、身体および財産を災害から守るため適切に対応する



問 災害発生後の対応として、地域の最前線地域社会の安全・安心を守る地元建設業者との協力関係はできているのか。

答 大雨や風向き等により内容は聞こえづらく、想定しており、さまざまな手段により確実に伝達できるように努めています。防災行政無線・市ホームページ・緊急速報メール・SNS・アラートを活用した放送等。

問 災害発生後の対応として、地域の最前線地域社会の安全・安心を守る地元建設業者との協力関係はできているのか。

答 日常的な管理をしている県道および市道は建設業者に路線委託を行い、また、大規模災害発生時における事前登録をしており、迅速かつ円滑な協力体制の整備を行っています。



筧本 語

障がい者への支援および施設の状況の改善について

答 障がい者の方が地域で安心して暮らせることを第一として、施設の充実を含め、障がい者施策を進める

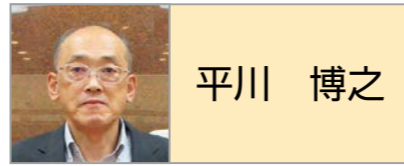


問 生活支援が必要な障がい者への具体的な支援は。また、国の基本的な方針として、新規での設置は難しい状況です。しかしながら、地域で暮らすことが困難な重度障がい者の方にとって、入所施設は必要なものではないかと懸念しています。その受け皿として、より身近な場所で生活が可能な施設「グループホーム」があります。

答 平成29年3月に「第2次江田島市障害者計画」を策定し、基本方針に沿った支援を行っているところ。生活拠点別として、主に訪問系サービス、居住支援系サービス、施設系サービスの大きく分けて3つの介護サービスがあり、その他に、就労継続支援や同行援護、行動援護などがあります。このようなサービスを受けるには「サービス等利用計画」を個人ごとに作成する必要があります。そのため、相談支援事業者の相談支援専門員が、本人の望む生活や家族の意向等を尊重しながら、本人中心の支援を行っています。生活支援が必要な障がいをお持ちの方が、その障がいの特性や生活の実態に応じた障害福祉サービスを確実に利用され、地域で生活ができる支援体制をはかっていきます。

問 生活支援が必要な障がい者への具体的な支援は。また、国の基本的な方針として、新規での設置は難しい状況です。しかしながら、地域で暮らすことが困難な重度障がい者の方にとって、入所施設は必要なものではないかと懸念しています。その受け皿として、より身近な場所で生活が可能な施設「グループホーム」があります。

答 現在、本市には重度の障がい者の方が入所する「障害者支援施設」はありません。また、国の基本的な方針として、新規での設置は難しい状況です。しかしながら、地域で暮らすことが困難な重度障がい者の方にとって、入所施設は必要なものではないかと懸念しています。その受け皿として、より身近な場所で生活が可能な施設「グループホーム」があります。このグループホームの中には、夜間だけでなく日中も支援が可能で、中重度の障がい者の方も利用できるものもあり、現在、本市に新たな施設設置を進めている事業者が複数あります。また、障害者支援施設についても、その役割は大きいと感じています。仮に整備を検討される事業者がいましたら、全面的に支援を行うなど、適切に対応してまいります。



平川 博之

公共施設および避難所施設の利用促進について

答 施設利用者のご理解をいただき、多目的トイレのない施設へサニタリーボックスを設置する



問 病気や高齢により尿漏れパッドや紙おむつを使用する人が、安心して外出や避難できるように、男性用トイレの個室にサニタリーボックスを設置する取り組みが全国的に進んでいるが、本市の設置に向けた取り組み状況を伺う。

答 本市の公共施設は、市民センターや交流プラザ、小中学校などさまざまな施設が全部で189施設あります。このうち多目的トイレを設置している施設が64施設です。病気や高齢などの理由で尿取りパッドや紙おむつを使用している男性が、外出先でこれらの汚物を処分できないということから公共施設の男性用トイレにもサニタリーボックスを設置する動きが各地で広がっています。しかし、本市では、多目的トイレの一部を除き、男性用トイレにサニタリーボックスの設置はしていない状況です。今後、高齢者福祉計画や都市計画マスタープランなどに基き、施設利用者の方々にサニタリーボックス設置の趣旨をご理解いただきながら、多目的トイレのない施設への設置について検討します。

問 児童支援事業について保護者の就業形態によっては、早朝からの児童クラブの開設も利用者の利便性を高めると思うが、伺う。

答 県内の状況として、早朝からの放課後児童クラブを開所している市町は存在していない状況です。従って、既存の放課後児童クラブの枠組みで対応することは、難しいと考えます。



総務文教常任委員会

総務部、企画部、危機管理監、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会、消防および教育委員会の所管に関する事務ならびに他の委員会に属さない事務



宮下委員 古居委員 浜西委員 上松副委員長 岡野委員長 山本委員 酒永委員 平本委員

主な活動内容

- 7月6日(水) 現地調査(イエナプラン教育を参考とした自立・協働学習・GIGAスクール事業)のまとめおよび報告書作成
- 7月7日(木)・8日(金)・14日(木) 議会アドベンチャーに出席
- 8月3日(水)・9月15日(木) 行財政経営計画に係る調査項目の抽出について

行財政経営計画とは

4町合併当初から現在までを振り返り、次なる10年(令和7年度～16年度)を見据えたこの5年間(令和2年度～6年度)の計画やこれまでの収支状況や、今後の見通しを示したもの。

調査報告概要

- ・イエナプラン教育を参考とした自立・協働学習
- ・児童が自分のペースで主体的に学んでいる。
- ・学力調査の観点からも平均以上もしくは平均水準に保たれている。
- ・少人数校にはマッチした教育プランである。
- ・GIGAスクール事業
- ・一人一台端末の配備やネットワークが整備されていた。
- ・教職員研修会の開催やICT支援員の追加配置がされ、指導体制の強化をはかっていた。



イエナプラン教育を試行した三高小学校

議会アドベンチャーに出席

市内小学6年生を対象に市議会を身近に感じ、政治に関心を持ってもらえるよう議場等の施設見学や議会に関するクイズ、議員に対する質問タイムを設けました。



議員席に座る小学生

僕たちも議員になれるかな!?

産業厚生常任委員会

産業部、土木建築部、企業局、農業委員会、市民生活部、福祉保健部および福祉事務所の所管に関する事務



寛本委員 美濃委員 沖元委員 平川副委員長 沖委員長 吉野委員 長坂委員 上本委員

主な活動内容

- 7月13日(水) 現地調査(リレーセンター・環境センター・前処理センター)
 - ・ごみ問題の現状把握と施設運営の現況や課題等確認のため、市内環境関連施設の現地調査を行った。ごみの減量化は処分費の圧縮だけでなく、施設の長寿命化につながるものであり、循環型社会の形成には欠かせない。
- 8月10日(水) 現地調査(市内環境施設)のまとめについて
- 9月14日(水) 有害鳥獣対策の課題抽出について

委員会意見

今年度、環境関連施設長寿命化計画を策定する予定である。各施設の現状把握と適切な運転管理、機器管理、施設の定期点検と更新等の実施等を盛り込んだ計画を策定するのはもちろんであるが、ごみの分別や再資源化について粘り強く啓発を続け、ごみの総量削減による施設の長寿命化をはかるよう努める必要がある。ごみステーションの調査等、今後も継続調査をしていく。

今年度から運転業務の民間委託が始まったよ。



缶やびんなどは再利用されて地球にやさしいね。売却して収益にもなっているよ。分別収集のごみ出しに協力しようね。



空き家の片づけなどでごみがたくさん出る時は、リレーセンターか環境センターに搬入しないとイケないよ。



埋め立て処分場はあと10年でいっぱいになるんだよ。ごみの減量化をみんなできないとイケないね。



リレーセンター 江田島町警部
クリーンセンターくれで焼却処理する可燃ごみを集積する中間処理施設

環境センター 沖美町岡大王
不燃ごみ、粗大ごみおよび資源ごみ等を、再資源化や埋め立て処分する施設

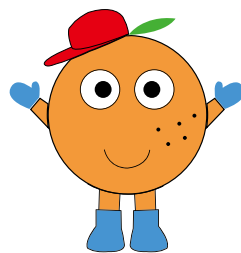
教えて！ 議会のこと

市議会ってどんなことをしているの？
わがまちのマスコットキャラクターたちから投げ掛けられる質問に議会広報特別委員会がお答えします！

今号の質問者

ヒロシマMIKAN
マラソン大会マスコット

ミカン坊や



ミカン坊や

まだ9月なのに決算審査ってどういうこと？

このたびの決算審査は今年度のものではないんだよ。
令和3年度、つまり昨年のもなんだよ。



委員



ミカン坊や

へえ～なんでこんなに時間がかかるの？

一般の人がする確定申告でも12月に締めて3月まで猶予があるでしょう。それが、自治体規模になるともっと大変になるのは想像できるよね。



委員



ミカン坊や

うん。なんとなく。

予算で決めた仕事は年度内の3月末までに執行されて、その後、市に入ってきたお金と使ったお金の集計をして、決算書類を作成するんだよ。さらに、7月から8月にかけて、監査委員によって審査が行われるんだ。だから議会での審査は9月になるんだよ。



委員



ミカン坊や

なるほど～！それで決算審査で何をやるの？

主なものは、予算で決めていた事業が正しく実施されたかどうかの確認とそれらの事業の成果を調査して、市民のためになっているか確認するんだよ。一部の人が好き勝手しないように監視できる仕組みになっているんだよ。市民のためになるような事業を進めてもらうために、次年度以降の指針にもなるので重要な審査なんだよ。



委員

議会広報特別委員会
委員長 長坂 実子
副委員長 上本 雄一郎
委員 岡野 数正
委員 美濃 英俊
委員 平本 美幸
委員 宮下 成美

美濃 英俊

早いもので江田島市議会も現在の体制になって一年が過ぎました。広報委員会では、現在の委員全員の意見が一致して、紙面のつくりを変更しました。これからも、市民の皆さまに読んでいただけるような紙面づくりを目指して、委員皆で力を合わせていきます。さて、今号は9月議会や決算審査特別委員会、各常任委員会の動きを中心に構成しています。さらに、新たな試みとして、さまざまな職種や世代の市民の声を、各議員がインタビューしてまとめてみました。今後もさまざまなケースでインタビュー記事を掲載したいと考えていますので、ご協力をお願いします。この度の決算審査の結果を踏まえて、市民の皆さまの声を行政執行部に届けることができる議会を目指して議員一同活動を進めてまいります。

編集後記